

		売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
		百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通 期		3,489	16.0	350	18.0	343	18.2	236	16.7	68.57	

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 2社 (社名) INBOUND PLATFORM ASIA PACIFIC PTE.LTD.、除外 1社 (社名) S L B S J A P A N株式会社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)
① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2025年9月期	3,449,600株	2024年9月期	3,449,600株
2025年9月期	41株	2024年9月期	1株
2025年9月期	3,449,565株	2024年9月期	3,439,899株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年9月期の個別業績 (2024年10月1日～2025年9月30日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期	3,006	28.8	300	66.8	294	64.4	206	62.1
2024年9月期	2,333	12.3	179	△46.3	179	△52.4	127	△49.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期	59.75	58.14
2024年9月期	36.96	35.54

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年9月期	2,703	1,423	52.6	412.52
2024年9月期	1,957	1,204	61.5	349.21

(参考) 自己資本 2025年9月期 1,423百万円 2024年9月期 1,204百万円

2. 2026年9月期の個別業績予想 (2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	3,468	15.3	337	14.5	232	13.0	67.53

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来性に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

なお、「事業計画及び成長可能性に関する事項」の進捗は2025年12月頃に開示予定です。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2025年11月17日に説明会を開催する予定です。説明会で使用する資料はTDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は当連結会計年度より連結計算書類を作成しておりますので、前事業年度との比較分析は行っておりません。

当連結会計年度における我が国経済は、インバウンドの増加や、国内需要の回復等による社会経済活動の正常化が進み緩やかな回復傾向となりました。一方で、国内では物価の高騰、海外では米国の通商政策への懸念や中東情勢の変化等の国際情勢により、地政学的リスクに伴うエネルギー価格上昇や、金融資本市場の変動影響等、国内外における経済的な見通しは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況において、当社グループモバイルネットワーク事業では、従来のWi-Fiレンタルサービスとともに、物理的なSIMカードやWi-Fi端末が不要で、ネットで申込から利用開始まで完結ができるeSIMサービスのマーケティングに注力してまいりました。また、ライフメディアテック事業では、当社グループの強みである外国人顧客基盤や外国人向けサービスのノウハウを活かし2024年9月期に立ち上げた、モビリティテックサービス（国内移動に係る外国人向け予約プラットフォーム）のサービス拡充と認知拡大に努めてまいりました。

当社は、第4四半期連結会計期間において、INBOUND PLATFORM ASIA PACIFIC PTE. LTD. 及びS L B S J A P A N株式会社の株式を取得したことにより、連結子会社となりました。これにより当社グループは当社、及び連結子会社2社の3社で構成されることとなりました。

これらの結果、当連結会計年度の業績は、売上高3,006,963千円、営業利益296,720千円、経常利益290,906千円、当期純利益202,771千円となりました。

セグメント別の経営成績を示すと、次のとおりであります。

a. モバイルネットワーク事業

当事業は、モバイルサービスの多様化を受けeSIMの利用拡大が進んだ一方、従来のWi-Fi端末のレンタルの減少や、インバウンドマーケット環境の競争激化により広告宣伝費や販売手数料が増加となりました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は1,643,545千円、セグメント利益は97,642千円となりました。

b. ライフメディアテック事業

当事業は、訪日外国人が4,163万人^(※1)となるなど好調な市場環境を追い風に、新幹線チケット手配サービスが好調に推移しました。一方で、新サービス開発に係る人件費及び広告宣伝費が増加となりました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は1,236,154千円、セグメント利益は192,947千円となりました。

(※1) 日本政府観光局（JNTO）「月別 訪日外客数」より当社算出

c. キャンピングカー事業

当事業は、訪日外国人数増加及び当連結会計期間の新車購入による増台の影響もあり好調に推移しました。

その結果、当連結会計年度における売上高は122,725千円、セグメント利益は6,130千円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年末における資産合計は、2,705,797千円となりました。

流動資産は、1,379,102千円となりました。主な内訳は、現金及び預金が920,874千円でした。固定資産は、1,326,694千円となりました。主な内訳は、レンタル資産が286,916千円、ソフトウェアが265,698千円、投資有価証券が47,958千円、差入保証金が489,428千円でした。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は、1,281,907千円となりました。

流動負債は、1,066,459千円となりました。主な内訳は、契約負債が96,282千円、買掛金が574,091千円、未払金が145,253千円、未払法人税等が74,586千円でした。固定負債は、215,448千円となりました。主な内訳は、長期借入金205,178千円でした。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、1,423,890千円となりました。これは、投資有価証券の評価差額金が12,311千円、当期純利益の計上に伴い剰余金が202,771千円増加したことによります。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は920,874千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において営業活動の結果得られた資金は628,956千円となりました。これは主に、税引前当期純利益285,926千円、減価償却費136,721千円、買掛金の増加額307,702千円、売掛金の増加額154,535千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において投資活動の結果使用した資金は360,321千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出113,274千円や、無形固定資産の取得による支出188,365千円、差入保証金の差入による支出433,300千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において財務活動の結果使用した資金は55,309千円となりました。これは、長期借入金の借入による収入100,000千円、長期借入金の返済による支出49,558千円によるものであります。

（４）今後の見通し

2026年9月期の当社グループの業績見通しについて、売上高は当期比16.0%増の3,489百万円を見込んでおります。営業利益は350百万円、経常利益343百万円、当期純利益236百万円を見込んでおります。また、当該業績見通しは、現時点において入手可能な情報等を前提として策定しており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

上記の詳細については、同日（2025年11月14日）公表の「2025年9月期 決算説明資料」をご覧ください。

（５）継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移や国内外の諸情勢を考慮の上、国際財務報告基準（ＩＦＲＳ）の適用について適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	当連結会計年度 (2025年9月30日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	920,874
売掛金	296,530
商品	57,216
貯蔵品	22,863
前払費用	48,365
関連会社短期貸付金	20,000
その他	13,252
流動資産合計	1,379,102
固定資産	
有形固定資産	
建物（純額）	36,377
構築物（純額）	290
車両運搬具（純額）	3,625
工具、器具及び備品（純額）	5,772
レンタル資産（純額）	286,916
その他（純額）	6,000
有形固定資産合計	338,983
無形固定資産	
ソフトウェア	265,698
商標権	673
ソフトウェア仮勘定	153,264
無形固定資産合計	419,636
投資その他の資産	
投資有価証券	47,958
敷金	18,076
差入保証金	489,428
繰延税金資産	9,110
その他	3,501
投資その他の資産合計	568,075
固定資産合計	1,326,694
資産合計	2,705,797

(単位：千円)

当連結会計年度
(2025年9月30日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	574,091
1年内返済予定の長期借入金	49,760
未払金	145,253
未払費用	44,927
未払法人税等	74,586
契約負債	96,282
預り金	38,572
その他	42,985
流動負債合計	1,066,459
固定負債	
長期借入金	205,178
その他	10,270
固定負債合計	215,448
負債合計	1,281,907
純資産の部	
株主資本	
資本金	351,630
資本剰余金	
資本準備金	420,380
その他資本剰余金	90,750
資本剰余金合計	511,130
利益剰余金	
その他利益剰余金	
繰越利益剰余金	544,652
利益剰余金合計	544,652
自己株式	△33
株主資本合計	1,407,380
その他有価証券評価差額金	12,311
為替換算調整勘定	△79
その他の包括利益累計額合計	12,232
非支配株主持分	4,277
純資産合計	1,423,890
負債純資産合計	2,705,797

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
売上高	3,006,963
売上原価	742,335
売上総利益	2,264,628
販売費及び一般管理費	1,967,908
営業利益	296,720
営業外収益	
受取利息及び配当金	1,550
受取補償金	3,925
その他	517
営業外収益合計	5,993
営業外費用	
支払利息	8,446
為替差損	1,881
その他	1,478
営業外費用合計	11,806
経常利益	290,906
特別利益	
固定資産売却益	278
特別利益合計	278
特別損失	
固定資産売却損	406
固定資産除却損	255
減損損失	4,596
特別損失合計	5,258

(単位：千円)

当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)	
税金等調整前当期純利益	285,926
法人税、住民税及び事業税	85,005
法人税等調整額	△1,228
法人税等合計	83,777
当期純利益	202,149
非支配株主に帰属する当期純利益	△622
親会社株主に帰属する当期純利益	202,771

連結包括利益計算書

(単位：千円)	
当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)	
当期純利益	202,149
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	12,311
為替換算調整勘定	△79
その他の包括利益合計	12,232
包括利益	214,381
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	215,003
非支配株主に係る包括利益	△622

(3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	351,630	511,130	341,880	—	1,204,642
当期変動額					
新株の発行					—
親会社株主に帰属する 当期純利益			202,771		202,771
自己株式の取得				△33	△33
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	202,771	△33	202,738
当期末残高	351,630	511,130	544,652	△33	1,407,380

	その他の包括利益累計額			非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計 額合計		
当期首残高	—	—	—	—	1,204,642
当期変動額					
新株の発行					—
親会社株主に帰属する 当期純利益					202,771
自己株式の取得					△33
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	12,311	△79	12,232	4,277	16,509
当期変動額合計	12,311	△79	12,232	4,277	219,248
当期末残高	12,311	△79	12,232	4,277	1,423,890

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益	285,926
減価償却費	136,721
減損損失	4,596
受取利息及び受取配当金	△1,550
補助金収入	△3,925
補助金返納額	433
支払利息	8,446
為替差損益 (△は益)	111
固定資産除売却損益 (△は益)	383
売掛金の増減額 (△は増加)	△154,535
前払費用の増減額 (△は増加)	△10,307
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△42,058
貯蔵品の増減額 (△は増加)	△14,226
未収入金の増減額 (△は増加)	11,459
前渡金の増減額 (△は増加)	△3,826
買掛金の増減額 (△は減少)	307,702
契約負債の増減額 (△は減少)	△30,509
預り金の増減額 (△は減少)	28,283
未払費用の増減額 (△は減少)	8,802
未払金の増減額 (△は減少)	64,307
未払消費税等の増減額 (△は減少)	22,793
未払法人税等の増減額 (△は減少)	11,993
その他	△2,065
小計	628,956
利息及び配当金の受取額	1,550
利息の支払額	△10,336
補助金の返納額	△433
補償金の受取額	3,731
法人税等の支払額	△22,845
法人税等の還付額	15,401
営業活動によるキャッシュ・フロー	616,024
投資活動によるキャッシュ・フロー	
差入保証金の差入による支出	△433,300
差入保証金の回収による収入	375,000
有形固定資産の取得による支出	△113,274
有形固定資産の売却による収入	22,963
無形固定資産の取得による支出	△188,365
短期貸付けによる支出	△20,000
関係会社株式の取得による支出	△3,344
投資活動によるキャッシュ・フロー	△360,320
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	100,000
長期借入金の返済による支出	△49,558
自己株式の取得による支出	△33
非支配株主からの払込みによる収入	4,900
財務活動によるキャッシュ・フロー	55,309
現金及び現金同等物に係る換算差額	△111
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	310,900
現金及び現金同等物の期首残高	609,973
現金及び現金同等物の期末残高	920,874

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「モバイルネットワーク事業」、「ライフメディアテック事業」、「キャンピングカー事業」の3つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

報告セグメント	属するサービスの内容
モバイルネットワーク事業	ポケットWi-Fiのレンタルサービス、eSIM提供サービス、モバイルアクセサリサービス
ライフメディアテック事業	生活サポートサービス、モビリティテックサービス
キャンピングカー事業	キャンピングカーのレンタルサービス

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

当連結会計年度(自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	連結財務諸表 計上額(注)4
	モバイルネットワーク事業	ライフメディアテック事業	キャンピングカー事業	計		
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	219,814	1,221,892	4,600	1,446,306	4,538	1,450,844
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	1,423,731	14,262	118,124	1,556,118	—	1,556,118
顧客との契約から生じる収益	1,643,545	1,236,154	122,725	3,002,425	4,538	3,006,963
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,643,545	1,236,154	122,725	3,002,425	4,538	3,006,963
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,643,545	1,236,154	122,725	3,002,425	4,538	3,006,963
セグメント利益	97,642	192,947	6,130	296,720	—	296,720
その他の項目						
減価償却費	101,232	22,859	12,629	136,721	—	136,721
減損損失	4,596	—	—	4,596	—	4,596

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント資産及び負債については、取締役会に対して定期的に提供しておらず、経営資源の配分決定及び業績評価の検討対象になっていないため記載しておりません。

3. 報告セグメントに対して特定の資産は配分しておりませんが、減価償却費等の関連費用は配分しております。

4. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
1株当たり純資産額	411.53円
1株当たり当期純利益	58.78円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	57.20円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
1株当たり当期純利益	
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	202,771
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	202,771
普通株式の期中平均株式数(株)	3,449,565
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—
普通株式増加数(株)	—
(うち新株予約権(株))	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	第4回新株予約権 新株予約権の数28個 (普通株式 22,400株) 第5回新株予約権 新株予約権の数16個 (普通株式 12,800株)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。